

30 年度事業報告

法人全体としての大きな課題でもある「保育士の確保」に 29 年度から引き続き重点的に取り組みました。エミールの森ひばり保育園（戸塚区）はほぼ解消され定員まで子どもの受け入れができました。エミールの森ひよこ保育園（栄区）は保育士不足が深刻化しており、定員の約半数の子どもの受け入れに留まりました。

30 年度も募集媒体を活用して積極的な募集活動をおこなうとともに、働きやすい職場であるにはいかにするべきか？を見直し、残業 0 を引き続きおこない、保育士の事務作業の軽減に取り組みました。

「保育の質の向上」が大きく問われる中で、前理事長、藤田恵子が保育園の創設時から掲げた「おもいきりのびのび保育」を展開し、いかに職員にも保護者にも選ばれる保育園になるかが 30 年度に持ち越した大きな課題でありました。

両園に在籍する保護者にとっては大きな事故もなく、保護者間（または保育士との）の関係も良好であり満足度は高いものと思われるが、入園を希望する保護者にとって栄区の保育園は入園受け入れを停止していることから保育園としての機能を果たしていないものと思われる。

このままの状態が続けば評判も悪くなり、廃園をささやかれることになりかねないので令和元年の今年が大きな転換期といえる。

「法人」

- ・ 横浜市内の保育士養成校へ保育士の就職依頼
 - …面接及び就職者数 0 名
- ・ 民間就職媒体の活用 2 社
 - …面接及び就職者数 3 名（エミールの森ひばり保育園）
- ・ 民間派遣会社の保育士派遣利用
 - …面接及び利用者数 2 名（エミールの森ひばり保育園）
- ・ 栄区民祭り参加
 - …保育園の P R 活動に重点を置き手作りおもちゃの販売

「エミールの森ひよこ保育園」

- ・ 保育の専門性を高めるための処遇改善費の支給
…本俸 2%の毎月支給及び賞与の上乗せ支給
- ・ 保育実習生及びボランティアの受け入れ
…中学生職業体験 7名の受け入れ

「エミールの森ひばり保育園」

- ・ 保育の専門性を高めるための処遇改善費の支給
…本俸 2%の毎月支給及び賞与の上乗せ支給
- ・ 一時保育事業の実施
…年間約 50 人（非定型保育・リフレッシュ保育）の受け入れ
- ・ 保育実習生及びボランティアの受け入れ
…保育士養成校からの実習生 1 名、中学生職業体験 10 名の受け入れ